

TC療法を受けられる患者さんへ

TC療法：ドセタキセル「ニプロ」(T) + シクロフォスファミド (C) 療法



監修

社会医療法人きつこう会
多根総合病院 副院長 乳腺センター長
西 敏夫 先生

目次

はじめに	2
1. TC療法について	
乳がん治療の種類	3
化学療法薬による治療の目的	3
TC療法とは	4
TC療法の投与スケジュール	4
TC療法の点滴を受ける前に	5
TC療法の点滴を受けている間の注意点	6
TC療法の点滴を受けた後の注意点	6
2. 主な副作用とその対策	
副作用はなぜ起こるのでしょうか？	7
どんな副作用が、いつ頃現れるのでしょうか？	8
それぞれの副作用はどのようなものですか？	9
アレルギー症状(過敏症)	9
吐き気・嘔吐・食欲不振	9
骨髄抑制	10
脱毛	11
筋肉痛・関節痛	12
疲労感・倦怠感	12
口内炎・味覚の変化	13
皮膚炎・発疹	13
むくみ(浮腫)	14
手足のしびれ	15
爪の変化	15
涙目	15
3. その他の副作用	
間質性肺炎	16
月経周期の乱れ	16
治療・体調チェックシート	17

はじめに

乳がんは、日本人女性の9人に1人が発症[※]する、女性が最もかかりやすいがんです。しかし、乳がんは比較的性質の良がんのひとつであり、他のがんに比べて有効な治療法が多いのも事実です。

乳がん治療のひとつ「TC療法(ドセタキセル・シクロホスファミド療法)」は、ドセタキセル(T)とシクロホスファミド(C)という2種類の抗がん剤を組み合わせ、投与する治療法です。抗がん剤治療は、がんの増殖を抑えるという大きなメリットがある一方で、副作用というデメリットもあり、治療はその両者のバランスを考えながら進められます。

そこで本冊子では、TC療法をはじめる患者さんに、TC療法の目的や投与方法、起こりうる副作用やその対策について理解を深め、いつもと違う体調の変化を感じた際は、医療スタッフにすぐに相談できるよう、やさしくまとめました。

また、TC療法中に現れた症状などを記入するための「治療・体調チェックシート」を巻末に設けましたので、ご活用ください。

初めてのことで分からないこと、もっとよく知りたいこと、不安なことがたくさんあると思います。あなたが抱えている疑問点や不安感、ご希望など、どんな些細なことでも遠慮なく担当の医師や看護師、薬剤師にご相談ください。

社会医療法人きつこう会

多根総合病院 副院長 乳腺センター長

西 敏夫

※国立がん研究センターがん情報サービス(2018年データ)

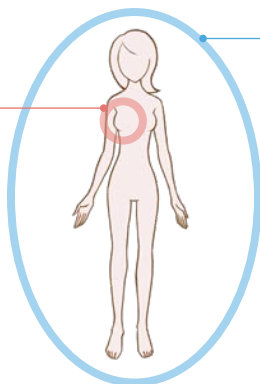
乳がん治療の種類

乳がんの治療法には、局所療法(手術、放射線治療)と全身療法(薬物療法)があります。乳がんは他の臓器に転移することがあるため、局所療法だけでなく、全身療法を組み合わせる治療を行う場合があります。

局所療法

乳房にできたがん細胞を狙って攻撃する治療法です。

- 手術
- 放射線治療



全身療法

からだ全体に散らばっているがん細胞に対して、広く攻撃する治療法です。

●薬物療法(抗がん薬治療)

ホルモン療法剤

化学療法薬

分子標的薬*

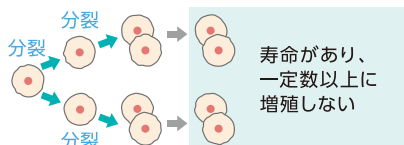
免疫チェックポイント阻害薬*

化学療法薬による治療の目的

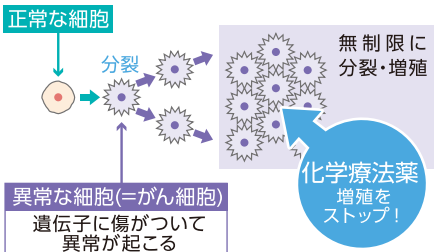
化学療法薬による治療は、乳腺のがん細胞や、全身に転移した可能性のあるがん細胞を攻撃する治療法です。

人の体は約60兆個の細胞からできており、必要に応じて分裂・増殖を繰り返しながら健康を維持しています。ところが、何らかの理由で遺伝子に傷がつくと、細胞が限りなく増え続け、やがて体に悪影響を及ぼすようになります(=がん細胞)。このがん細胞を直に攻撃して増殖を抑えるのが「化学療法薬」です。

正常な細胞



がん細胞



分子標的薬：がん細胞の特徴を分子レベルで認識し、増殖や転移にかかわる特異的な物質を標的として攻撃するお薬です

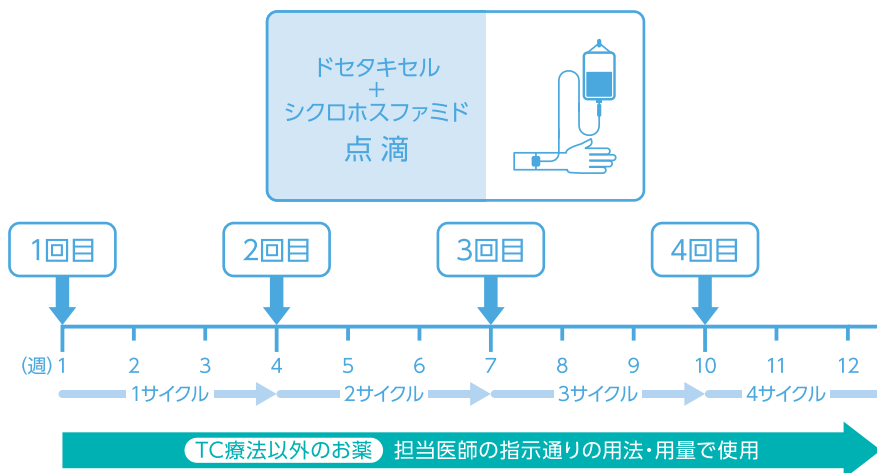
免疫チェックポイント阻害薬：がん細胞によっておさえられた免疫機能を再び活性化させるお薬です。

TC療法とは

TC療法は、ドセタキセル* (T) とシクロホスファミド* (C) という2種類の化学療法薬による治療を組み合わせて投与する治療法です。早期乳がんに対する標準的な治療のひとつで、術後補助療法*の中でも、比較的短期間の化学療法薬治療にあたります。

TC療法の投与スケジュール

- TC療法は、3週間に1回の割合で点滴を行い、それを4サイクル繰り返すスケジュールが一般的です。1回の点滴時間は約2～3時間で、治療は外来（通院）で行われる場合と入院で行われる場合があります。
- より効果的に治療を行ったり、副作用を抑えたりする目的で、他のお薬と一緒に投与されることもあります。



ドセタキセル：植物（ヨーロッパイチイの木）の針葉から抽出した成分をもとにつくられた化学療法薬です。世界100カ国以上で使用されており、乳がん治療の他にも、卵巣がん、子宮体がん、肺がん（非小細胞肺がん）、胃がんなどに使用されています

シクロホスファミド：現在、世界中でよく用いられている化学療法薬のひとつで、50年以上前に発売されました。単剤で用いられることもありますが、他の化学療法薬と併用することの多いお薬です

術後補助療法：乳がんを手術で取り除いたあと、再発防止のために薬物療法を行う治療法です

TC療法の点滴を受ける前に

次に挙げた項目に該当するものがありましたら、あらかじめ医師や看護師、薬剤師にお伝えください。

これまで(過去)

- お薬に対してアレルギー症状が現れたことがある
- 化粧品などに対してアレルギー症状が現れたことがある
(症状がひどかった場合、何度か経験した場合など)

現在

- 何かのお薬(市販薬を含む)を使用している
- 他の病院で治療を受けている、またはこれから受けようとしている
- 妊娠中または妊娠している可能性がある



ドセタキセル「ニプロ」はアルコール成分を含まない「非エタノール製剤」です。

TC療法の点滴を受けている間の注意点

お薬が血管の外に漏れないように点滴中は安静にし、もしも次のような症状が現れたら、すぐに医師、看護師に知らせてください。

- 点滴部位に**痛み・焼けるような熱さ**を感じる
- 点滴部位が**腫れている・赤くなっている**
- **息苦しさ・胸の苦しさ・吐き気**などを感じる

アレルギー症状P9



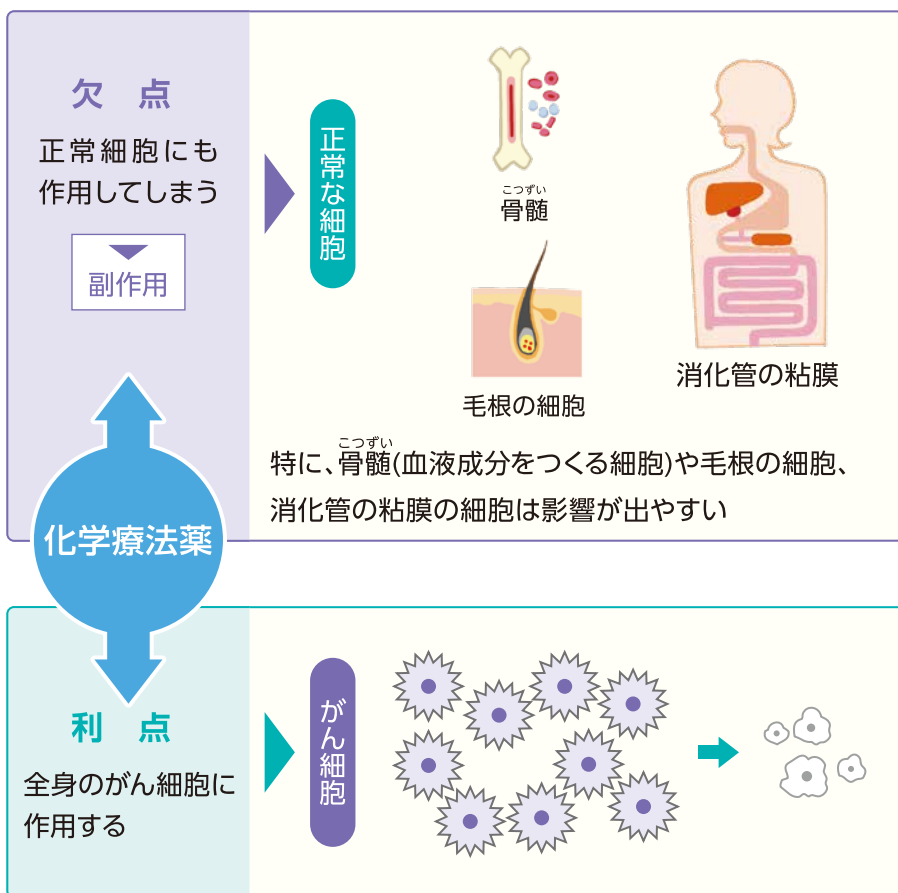
TC療法の点滴を受けた後の注意点

点滴が終わった後は、しばらく安静にしてください。

いつもと違う体調の変化を感じた場合は、医師や看護師、薬剤師に知らせてください。

Q 副作用はなぜ起こるのでしょうか？

化学療法薬は、がん細胞が増えるメカニズムを止めることで、治療効果を発揮するお薬です。がん細胞は増殖が活発で、化学療法薬はそれを目印にがん細胞を攻撃します。しかし、正常な細胞にも増殖が活発なものがあり、それらの正常細胞が化学療法薬の影響を受けると、副作用として現れます。



Q どんな副作用が、いつ頃現れるのでしょうか？

主に以下のような副作用がみられています。副作用には個人差があり、すべての患者さんに現れるわけではありません。どんな症状が、いつ頃、どの程度現れるのかについても、患者さんによって異なります。

■ 主な副作用と現れやすい時期

当日(点滴中)	- アレルギー症状 (過敏症) - 血管外漏出にともなう腫れ・痛み	
当日～数日	- 吐き気・嘔吐おうと - 食欲不振	
数日～数週間	- 骨髄抑制こつずいよくせい - 脱毛 - 筋肉痛・関節痛 - 下痢 - 疲れ・倦怠感 - 口内炎・味覚の変化 - 皮膚炎・発疹	
数週間～数カ月	- むくみ(浮腫)ふしゅ - 手足のしびれ - 爪の変化 - 涙目	



起こりうる副作用について理解を深めておくことで、症状が現れた時に担当医にすぐ相談できます。副作用をコントロールすることが、化学療法薬による治療の効果を高めます

巻末の「治療・体調チェックシート」をご活用ください。

Q それぞれの副作用はどのようなものですか？

■ アレルギー症状（過敏症）

投与中にアレルギー症状（過敏症）が現れることがあります。多くは軽症ですが、まれに血圧の急激な低下や呼吸困難が起こることがあります。おかしいと感じたら、すぐに医師や看護師、薬剤師にお知らせください。



こんな症状に
要注意

- ・胸がドキドキする
- ・呼吸が苦しい
- ・胸が痛い
- ・顔がほてる
- ・汗が出る
- ・発疹が出る



お薬や注射でアレルギー症状が現れたことのある方は、ドセタキセルでの治療を始める前に、必ず医師や看護師、薬剤師にお知らせください

■ 吐き気・嘔吐・食欲不振

吐き気や嘔吐（気持ち悪くなったり吐いたりすること）、食欲不振が現れることがあります。次のような症状がある時や、つらいと感じた時は、我慢せずに医師や看護師、薬剤師に相談しましょう。



こんな症状に
要注意

- ・吐き気や嘔吐が続き、食事や水分がほとんどとれない
- ・吐き気や嘔吐が続き、仕事や日常生活に支障が出ている
- ・吐き気止めのお薬が飲めない

■ 対策

- 食べられる時に、食べられる物を、少しずつ食べるようにしましょう。
- 食事は少量ずつ、そのぶん回数を多くしてとるようにするとよいでしょう。
- 食事がとれない時は、なるべく水分をとるように心がけましょう（水、スポーツ飲料、フルーツジュースなど）。頻尿などを気にして、水分補給を控えることは避けましょう。
- 嘔吐おうとした時は水分補給を心がけ、脱水症状を防ぎましょう。
- 食べ物のにおいが気になる時は、冷ますとにおいが抑えられます。
- 料理中に匂いが気になる時は、マスクの着用も効果的です。また、体調がすぐれない時は無理をせず、ご家族の協力を仰いだり、家事をこなせる日や時間を選ぶなど、ご自身のペースに合わせましょう。
- 食後すぐに横にならないようにしましょう。
- 体を締め付けるような衣類の着用は避けましょう。

こつ づい よく せい ■ 骨髓抑制

ドセタキセルを含む治療が骨髓こつ づいに作用して、血液の成分（白血球・血小板・赤血球）が減少してしまうことがあります。特に白血球（好中球）の数が少なくなると免疫力が低下し、感染症が起こりやすくなります。

次のような症状がある時は、必ず医師や看護師、薬剤師に連絡しましょう。

こんな症状に 要注意

- ・発熱（38℃以上）、寒気がする
- ・咳が出たり、のどが痛む
- ・排尿時に痛みがある、下痢が続く

■ 対策

- 帰宅時は手洗いとうがいを心がけましょう。
- 体を清潔に保ちましょう。
- 人混みを避け、マスクを着用しましょう。
- 風邪やインフルエンザにかかっている人には近づかないようにしましょう。
- 早期の発見が大切です。排尿痛や下痢が続く際は、恥ずかしがらずに医師や看護師、薬剤師にお知らせください。

■ 脱毛

毛髪をつくる細胞は化学療法薬の影響を受けやすく、化学療法薬による治療開始から2～3週間くらいで脱毛が始まります。頭髮だけでなく、まゆ毛、まつげなど全身の体毛が抜けることもあります。化学療法薬による治療が終われば、ほとんどの方で回復していきますが回復には個人差があります。

■ 対策(治療前)

- 頭髪を短くカットしておくのもよいでしょう。

■ 対策(治療中)

- 治療中は髪に刺激を与えないようにしましょう。
 - ・ 刺激の強いシャンプーを避け、髪・地肌をやさしく洗いましょう。
 - ・ 洗髪後は自然に乾燥させましょう。
 - ・ 毛先の柔らかいブラシを使い、ブラッシングは控えめにしましょう。
 - ・ 頭皮を直射日光にあてないようにしましょう。
- 帽子やバンダナ、ウィッグ(かつら)を上手に利用してみましょう。
 - ・ 気温の高い日は、ウィッグによるかぶれや湿疹に注意しましょう。
- 美容面の悩みは、メイクを上手に取り入れてみましょう。
 - ・ まゆ毛やまつげの脱毛には、アイブローペンシルなどを活用してみましょう。また、目にゴミが入りやすくなったり、光がまぶしく感じられることがありますので、サングラスやメガネ、帽子の着用など、ご自身に合った方法を取り入れてみましょう。
 - ・ 普段よりも明るい色使いにして雰囲気を変えるだけでも、気分が引き立ち、前向きに過ごせます。
- 美容面は、化学療法薬による治療を受ける乳がん患者さんに多い悩みのひとつです。
ひとりで悩まず、看護師や薬剤師に相談し、乳がん経験者の知恵を取り入れた“元気になるメイク”を楽しみましょう。

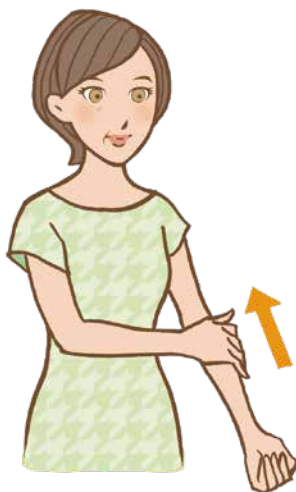


■ 筋肉痛・関節痛

筋肉や関節の痛みが現れることがあります。つらいと感じる時は我慢せず、医師や看護師、薬剤師に相談しましょう。

■ 対策

- 血行がよくなると症状が和らぐことがあります。
 - ・ 痛みのある部分を温めてみましょう。
 - ・ ゆっくり入浴して、体を温めるのも効果的です。
 - ・ 体の中心に向かってマッサージしてみましょう。



■ 疲労感・倦怠感

体がだるい、重い、疲れやすいといった全身の倦怠感が現れることがあります。自己判断(例:がんの病気のせいだろう)は避け、症状が続く時は医師や看護師、薬剤師に相談しましょう。

■ 対策

- 無理をせず、睡眠や休養を十分にとりましょう。
- 趣味を楽しむなど、自分なりのリラックス法を取り入れてみましょう。

■ 口内炎・味覚の変化

口内炎が現れることがあります（舌、歯ぐき、くちびる、頬の内側）。口内炎は予防が大切ですので、日常生活では以下の点に注意しましょう。

■ 対策（予防）

- ドセタキセルを含む治療の開始前に、虫歯を治療しておきましょう。
- こまめにうがいをして口腔内を清潔に保ちましょう。
- 歯ブラシはやわらかいものを使用しましょう。



■ 口内炎ができてしまったら

- 刺激の強い食べ物（辛い料理や酸味の強い果物など）はできるだけ避けましょう。
- やわらかい食べ物に変えるほか、食材を小さく切ったり、やわらかく調理するのも効果的です。

また、味覚が変化することもあります。ほとんどの場合、治療が終わると元に戻ります。治療中にご家族に協力してもらいながら、味付けを工夫してみましょう。

■ 皮膚炎・発疹

皮膚にしもやけやあかぎれのような症状、赤いぶつぶつが現れることがあります。保湿クリームや適切なお薬で改善することがありますので、医師や看護師、薬剤師に相談してみましょう。

■ 対策

- 肌への負担が大きいメイク落としや、アルコールを含む化粧水、乳液、クリームの使用はなるべく避けましょう。
- 皮膚症状がある時は、スキンケアを行いつつ、薄めのお化粧を心がけましょう。

■ むくみ(浮腫)

むくみ(浮腫)はドセタキセルの特徴的な副作用です。お薬の作用で血液中の水分が血管の外にしみ出し、その水分が体内に溜まることで起こります。自然に治ることもありますが、症状が重くなると肺や心臓に負担がかかる場合があります。次のような症状がある時は、医師や看護師、薬剤師に相談しましょう。

こんな症状に 要注意

- ・急に体重が増えた、尿の量が減った
- ・手足や全身がむくんだり、体が重い

■ 対策

- ・毎日決まった時間に体重を測定し、記録をつけましょう。
- ・塩分や水分のとりすぎに注意しましょう。
- ・締めつけのきつい衣類(特に下着・靴下)や、きつい靴は避けましょう。
- ・長時間の立ち仕事や家事は避け、むくんだ手足は高くして寝るとよいでしょう。
- ・体を動かしたり、お風呂にゆっくりつかったりして、血液の循環をよくしましょう。



■ 手足のしびれ

手足の指がしびれたり、感覚が鈍くなったりすることがあります。ボタンがかけづらい、物を落としやすい、つまずきやすいなど日常生活に支障がある場合は、医師や看護師、薬剤師に相談しましょう。

■ 対策

- 手足の感覚が鈍くなっている時は、火傷やけがに注意しましょう。
- 重いものはできるだけ持たないようにしましょう。
- 掃除や洗濯はゆっくり行い、転倒に注意しましょう。

■ 爪の変化

爪の変色や変形が現れることがありますので、日常生活では次のことに注意しましょう。

■ 対策

- 爪は短く切りそろえ、爪が何かに引っかかってはがれたり、出血するのを防ぎましょう。
- 手洗いを心がけ、入浴時は足の爪もきれいに洗いましょう。
- ドセタキセル治療中は、マニキュアや除光液、ネイルは控えましょう。

■ 爪がはがれてしまったら

- 患部を清潔に保ち、絆創膏などで保護しましょう。



■ 涙目

涙目、目の充血、目やに、まぶたの腫れ、目があけにくいといった眼症状が現れることがあります。眼科の受診が必要になる場合もありますので、医師や看護師、薬剤師にお知らせください。

■ 間質性肺炎

肺の間質と呼ばれる部位に炎症が起こり、呼吸がしにくくなることがあります(間質性肺炎)。間質性肺炎が起こると、風邪に似た症状が現れます。ご自身で判断せず、必ず医師や看護師、薬剤師に連絡しましょう。



こんな症状に
要注意

- ・咳が出る(空咳)、熱っぽい(発熱)
- ・息切れがする、呼吸が苦しい
- ・体がだるい(倦怠感)

■ 月経周期の乱れ

閉経前の患者さんは月経周期が乱れることがあります。程度に個人差がありますので、気になる場合は医師や看護師、薬剤師に相談しましょう。

その他、気になる症状があれば、医師や看護師、薬剤師にご相談ください。



治療・体調チェックシート

TC療法の治療期間中に感じた体
診察を受ける際は、この記録を主

日付		/	/	/
TC療法の 点滴を受けた日		☐	☐	☐
検査を受けた日		☐	☐	☐
体温(℃)		.	.	.
体重(kg)		.	.	.
食事の量		0・1・2・3	0・1・2・3	0・1・2・3
		0:通常と同じ(通常よりも多め) 1:やや少ない		
気 に な る 症 状	皮膚炎・発疹	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有
	脱毛	0・1・2・3	0・1・2・3	0・1・2・3
		0:なし 1:少し 2:中程度 3:強い		
	疲労感・倦怠感	0・1・2・3	0・1・2・3	0・1・2・3
		0:なし 1:少し 2:中程度 3:強い		
	息切れ・息苦しさ	0・1・2・3	0・1・2・3	0・1・2・3
		0:なし 1:少し 2:中程度 3:強い		
	吐き気	0・1・2・3	0・1・2・3	0・1・2・3
		0:なし 1:吐き気はあるが、通常通り食事は食べられる 2:吐き		
	むくみ	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有
	マヒ・しびれた感じがする	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有
	嘔吐	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有
下痢	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	
筋肉痛・関節痛	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	
他に気になったこと・ 困ったこと (自由記入)				
併用薬 (お薬の名前)				

調の変化や気になることがあれば記録しましょう。
 治医に見てもらい、気になることがあれば相談するようにしましょう。

	/	/	/	/
	☐	☐	☐	☐
	☐	☐	☐	☐
	.	.	.	.
	.	.	.	.
	0・1・2・3	0・1・2・3	0・1・2・3	0・1・2・3
2: 少ない 3:ほとんど食べられない				
	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有
	0・1・2・3	0・1・2・3	0・1・2・3	0・1・2・3
	0・1・2・3	0・1・2・3	0・1・2・3	0・1・2・3
	0・1・2・3	0・1・2・3	0・1・2・3	0・1・2・3
	0・1・2・3	0・1・2・3	0・1・2・3	0・1・2・3
気があり、食事があまり食べられない 3:吐き気があり、食事がほとんど食べられない				
	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有
	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有
	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有
	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有
	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有

※コピーして記録を続けてください。



治療・体調チェックシート

TC療法の治療期間中に感じた体
診察を受ける際は、この記録を主

日付		/	/	/
TC療法の 点滴を受けた日		☐	☐	☐
検査を受けた日		☐	☐	☐
体温(℃)		.	.	.
体重(kg)		.	.	.
食事の量		0・1・2・3	0・1・2・3	0・1・2・3
		0:通常と同じ(通常よりも多め) 1:やや少ない		
気 に な る 症 状	皮膚炎・発疹	無・有	無・有	無・有
	脱毛	0・1・2・3	0・1・2・3	0・1・2・3
		0:なし 1:少し 2:中程度 3:強い		
	疲労感・倦怠感	0・1・2・3	0・1・2・3	0・1・2・3
		0:なし 1:少し 2:中程度 3:強い		
	息切れ・息苦しさ	0・1・2・3	0・1・2・3	0・1・2・3
		0:なし 1:少し 2:中程度 3:強い		
	吐き気	0・1・2・3	0・1・2・3	0・1・2・3
		0:なし 1:吐き気はあるが、通常通り食事は食べられる 2:吐き		
	むくみ	無・有	無・有	無・有
	マヒ・しびれた感じがする	無・有	無・有	無・有
	嘔吐	無・有	無・有	無・有
下痢	無・有	無・有	無・有	
筋肉痛・関節痛	無・有	無・有	無・有	
他に気になったこと・ 困ったこと (自由記入)				
併用薬 (お薬の名前)				

調の変化や気になることがあれば記録しましょう。
 治医に見てもらい、気になることがあれば相談するようにしましょう。

	/	/	/	/
	☐	☐	☐	☐
	☐	☐	☐	☐
	.	.	.	.
	.	.	.	.
	0・1・2・3	0・1・2・3	0・1・2・3	0・1・2・3
2: 少ない 3:ほとんど食べられない				
	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有
	0・1・2・3	0・1・2・3	0・1・2・3	0・1・2・3
	0・1・2・3	0・1・2・3	0・1・2・3	0・1・2・3
	0・1・2・3	0・1・2・3	0・1・2・3	0・1・2・3
	0・1・2・3	0・1・2・3	0・1・2・3	0・1・2・3
気があり、食事があまり食べられない 3:吐き気があり、食事がほとんど食べられない				
	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有
	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有
	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有
	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有
	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有

※コピーして記録を続けてください。



治療・体調チェックシート

TC療法の治療期間中に感じた体
診察を受ける際は、この記録を主

日付		/	/	/
TC療法の 点滴を受けた日		☐	☐	☐
検査を受けた日		☐	☐	☐
体温(℃)		.	.	.
体重(kg)		.	.	.
食事の量		0・1・2・3	0・1・2・3	0・1・2・3
		0:通常と同じ(通常よりも多め) 1:やや少ない		
気 に な る 症 状	皮膚炎・発疹	無・有	無・有	無・有
	脱毛	0・1・2・3	0・1・2・3	0・1・2・3
		0:なし 1:少し 2:中程度 3:強い		
	疲労感・倦怠感	0・1・2・3	0・1・2・3	0・1・2・3
		0:なし 1:少し 2:中程度 3:強い		
	息切れ・息苦しさ	0・1・2・3	0・1・2・3	0・1・2・3
		0:なし 1:少し 2:中程度 3:強い		
	吐き気	0・1・2・3	0・1・2・3	0・1・2・3
		0:なし 1:吐き気はあるが、通常通り食事は食べられる 2:吐き		
	むくみ	無・有	無・有	無・有
	マヒ・しびれた感じがする	無・有	無・有	無・有
	嘔吐	無・有	無・有	無・有
下痢	無・有	無・有	無・有	
筋肉痛・関節痛	無・有	無・有	無・有	
他に気になったこと・ 困ったこと (自由記入)				
併用薬 (お薬の名前)				

調の変化や気になることがあれば記録しましょう。
 治医に見てもらい、気になることがあれば相談するようにしましょう。

	/	/	/	/
	☐	☐	☐	☐
	☐	☐	☐	☐
	.	.	.	.
	.	.	.	.
	0・1・2・3	0・1・2・3	0・1・2・3	0・1・2・3
2: 少ない 3:ほとんど食べられない				
	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有
	0・1・2・3	0・1・2・3	0・1・2・3	0・1・2・3
	0・1・2・3	0・1・2・3	0・1・2・3	0・1・2・3
	0・1・2・3	0・1・2・3	0・1・2・3	0・1・2・3
	0・1・2・3	0・1・2・3	0・1・2・3	0・1・2・3
気があり、食事があまり食べられない 3:吐き気があり、食事がほとんど食べられない				
	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有
	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有
	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有
	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有
	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有

※コピーして記録を続けてください。

気軽に声をかけてください

副作用には個人差があり、すべての患者さんに現れるとは限りません。また、副作用の種類や程度も様々です。副作用が現れた場合はもちろん、気になる症状や相談したいことがある時は、気軽に医師や看護師、薬剤師にお声がけください。



かかりつけの病院情報

病院名

担当医師名

TEL

いつでも連絡や相談ができる電話番号を控えておきましょう。

